

(2022年2月3日配信)

NHK ラジオ深夜便 「明日へのことば」 2月4日(金) 4時台

「街の宝を掘り起こせ」

矢掛古民家再生プロジェクト前代表

繁森 良二

聞き手 坂口 憲一郎



今回は「町の宝を掘り起こせ」ということで、岡山県矢掛町（やかげちょう）の古民家再生プロジェクト前代表、繁森 良二（しげもり・りょうじ）さんのお話です。

繁森さんは、大学卒業後、地元、岡山の天満屋デパートに就職し、営業、販売促進、外商を経験し、新店舗の開設から経営まで手がけました。

退職後は、、スポーツクラブの運営を依頼され、社会福祉法人旭川荘や国際医療ボランティア アムダのサポートなどに取り組んでこられました。

繁森さんが、ユニークなのは、日野かんぞう倶楽部・新渡戸稲造学校から「偉大なるお節介症候群認定証」なるものを贈られたことだと思います。内容は、お話を聞いてのお楽しみ。

70歳で、これらの仕事に区切りをつけ、、好きなジョギングや点訳奉仕などのボランティアに精を出していましたが、矢掛町から古民家を生かした町おこしをやって欲しいと、頼まれます。彼は、どのようにして町おこしをしていったのか。ここにも彼の人脉と「お節介症候群」が生かされています。

写真説明

ドキュメンタリー映画「クワイ河に虹をかけた男」岩手上映会
トークイベント「ロマックスへの謝罪の旅」 駒井 修 氏
聞き手 坂口 憲一郎

滝沢市の田園地帯の向こうには、純白の雪山が見えていた。ピカピカのビッグルーフ滝沢のホールでは、午前10時には上映会実行委員会の人達が、会場の設営に取り掛かった。映画鑑賞に訪れた人は230人。予想を超える大勢の人で、2016年12月スタートした実行委員会メンバーの努力が実った。アンケート調査(答えてくれた人87人)によると、60代、70代がざっと3分の2。感動したのは、アンケートの記入内容。意見、感想満載、戦争体験への関心が高い。トークイベントの駒井修さんはもうすぐ80歳。駒井さん世代の歴史証言者は、年々少なくなる。

永瀬隆さんを知ったのは、31年ほど前、彼がクワイ河平和基金を設立した頃。ラジオの「人生読本」で放送したところ、東京在住の方から100万円の寄付が寄せられた。永瀬さんは、びっくりして私にそのことを伝えてきた。永瀬さんには、思わぬ支援だった。それから30年、ラジオ深夜便で、活動を何度か紹介するにつれて、全国から500円、1000円と支援の輪が広がった。わずかな年金の中から寄付してくれる人もいた。永瀬さんの活動は、長年、全国の人に支えられてきたのだ。 ~2017年3月18日 滝沢市にて~